

PTA活動の始まり～ご存知ですか？～

Parent(親) - **T**eacher (教師) - **A**ssociation (組織)



加太小PTAの始まり 学校沿革誌より

昭和23年2月16日 加太村父母と先生の會「PTA」結成式

昭和24年3月23日 加太村父母と先生の會は學校再配置の結果、小中學分離の為、加太小學校父母の會と西部中學校加太分校父母と先生の會に改組する

加太小學校PTAは、保護者の方が積極的に活動していただいている元気のある組織です。また、加太小學校運営協議会「つむぎ」と強い連携を取り、「加太地区まちづくり協議会」や「地域の活動団体」を巻き込んだ活動をしていることも特徴の一つで、地域（Community）を巻き込んだ活動を展開する「PTCA」とも言えます。

初代PTA会長 川北 要助 様として始まった活動は71年間受け継がれ、現在の渡邊豪己PTA会長は、第53代目となります。令和元年は、PTA活動72年目を迎えます。

PTAの歴史

19世紀末、アメリカのアリス・バーニーさんの「尊い命を守り、無力な幼児を健やかに育て望ましい環境に迎え入れよう。」という訴えが、多くの母親たちの共感を呼び運動の輪が広がっていきました。日本のPTAは、昭和21年3月にアメリカ教育使節団が来日して、教育の民主化を勧告しました。それを受けて、文部省がPTAの普及を積極的に推奨した結果、昭和22年から昭和23年にかけて各学校にPTAが結成されました。